

# IMPLANT

## インプラント

インプラントで人生を  
最高のステージに導く方法



ナガオカデンタルクリニック

AAIDアメリカインプラント学会専門医  
歯学博士 渥美 元康 著

はじめに

歯を失った辛さを乗りこえ

インプラントで笑顔を取り戻すお話の扉へようこそ。

「しゃべりにくい」「食べにくい」「笑えない」「老けて見える」…

これらは、歯を失った多くの方が抱える共通の悩みです。

しかし、歯を失うことで本当に失われてしまうのは

日常のさまざまな楽しみだけではありません。

それは、あなたのライフスタイルそのものなのです。

食事、会話、笑顔、そして自信。

これらはすべて、あなたが生活の中で自然と享受していた幸福です。

しかし、歯を失うことで、これらが「できなくなってしまうた」と感じてしまうのかもしれない。

私、ナガオカデンタルクリニック院長の歯学博士 渥美元康は、そのような悩みを持つ方々へ向けて、インプラント治療による新たな希望のメッセージをお届けしたいと思います。

歯を抜かなければならない状況下での選択肢は、入れ歯、ブリッジ、そしてインプラントです。

多くの方がこれらの言葉を聞いたことがあるかもしれませんが、インプラントが「第2の永久歯」と称される理由をご存じでしょうか？

インプラントは、まるで自分の歯のように  
食事や会話、笑顔を楽しむことができます。

しかし、「手術が怖い」「高額である」「長持ちするのか不安」  
といった疑問や不安をお持ちの方も少なくないでしょう。

この小冊子では、そうした疑問にお答えし、  
インプラント治療への理解を深めていただくことを目指しています。

本書を通じて、インプラント治療の全貌をお見せし、  
治療後に取り戻すことができるライフスタイル、  
そしてそこに込められた無限の可能性についてお話します。

また、実際に治療を受けた患者さんの声を通じて、インプラントがいかに多くの方の人生を変えたかをご紹介します。

このお話の終わりには、あなたが新たな一歩を踏み出すための勇気と知識を手に入れていくことでしょう。

そして、私たちはその一歩を共に歩む準備ができています。歯を失ったことで変わってしまったあなたの世界を、再び美しい笑顔で満たすために。

ぜひ、この小冊子をあなたの道しるべとして、インプラント治療という新しい扉を開いてみてください。

**AAIDアメリカインプラント学会専門医 歯学博士 渥美 元康**

## 第1章 「インプラントに対する私の情熱と旅」

大学卒業後、東京都八王子市での2年間の勤務を経て、東京都港区の開業医として働く中で、私は様々な講習会に参加しました。

1999年には、日本の歯科医療界をリードするドクターたちが集う

1年間コースの講習会に参加し、審美歯科とインプラント治療について学びました。

この経験は、私の治療技術を格段に向上させる転機となりました。

特に前歯の審美治療を行う中で、奥歯が入れ歯である場合に生じる問題に直面し、インプラントの重要性を実感しました。

その後、矯正担当医である山田幸司先生との協力のもと、インプラント治療の重要性が一層明確になりました。

インプラント治療への深い理解と実践のため、私は国内外の講習会に参加し、有名なインプラント医の手術を何度も観察し、助手を務めました。

この経験を通じて、患者さんの美意識や健康意識が高いほど、インプラントを選択する傾向があること、

そして治療後の深い感謝の言葉を頂戴することが、私にとって大きな喜びとなりました。

インプラント治療は、常に進化し続けている分野であり、患者さんの喜びのために、私とスタッフは学び続け、努力を重ねています。

私の治療への取り組みは、患者さんの生活を豊かにし、日々の喜びを取り戻すことに寄与しています。

しかし、日本ではインプラント治療の技術実践トレーニングの機会が限られていることを痛感し、インプラント先進国アメリカでの学びを積極的に行うことを決意しました。

この決断は、孤独で厳しい道のりでしたが、

1951年発足の世界最古で最難関である

AAIDアメリカインプラント学会専門医資格取得に至りました。

AAIDアメリカインプラント学会専門医の取得には、

300時間の認定講習会を受講後、

1次試験は4時間で150問の英語で4択の試験。

2次試験はシカゴにあるアメリカ歯科医師会館で、

受験者が治療した3ケース症例を提出し、



試験のための5ケース症例の、合計8ケースについて  
90分の口頭試問に合格後、学術大会で表彰されて、  
AAADアメリカインプラント学会の専門医に認定されます。

インプラント治療を受ける際には、専門医ライセンスの有無と  
受講したトレーニング時間を患者さん自身が確認することが、  
安心安全な治療を受けるための重要なポイントです。

私はIDIA国際歯科インプラント学会認定医専門医指導医を含む  
複数の学会で認定された専門家として、国際的に活動しています。

インプラント治療の世界で学び、経験を積み重ねることで、  
患者さんの生活をより豊かにする知識と技術を  
持つことができるようになりました。

患者さん一人ひとりの笑顔と生活の質を高めるために、  
私はこれからもインプラント治療に情熱を傾け、  
日々前進し続けます。  
私のもとで治療を受けることで、あなたも  
新たな人生の1歩を踏み出し、  
毎日をより一層楽しむことが  
できるようになることを願っています。



## 第2章 インプラント治療をこ存じですか？

インプラント治療は、失われた歯を人工の歯根で置き換える先進的な技術です。

この治療方法の概念は1952年にスウェーデンの  
ブローネマルク博士によって発見され、

1965年に初めて人間にデンタルインプラントを埋入されて以来、  
長期の実績があります。

日本では保険適応されていない治療法なので、  
最近になって認知された方も多いと思います。

インプラントの主な素材は、体に優しいチタンで、  
アレルギー反応が少なく、骨としっかり結合します  
その上に土台を接続させセラミックの歯を被せます。

過去に私は、歯の保存を優先し、患者さんの願いを尊重して歯をできるだけ抜かない治療を行っていました。

歯槽膿漏のため、顎の骨が痩せ、固い物はもちろん、

卵焼きでさえ噛めない歯で抜かないといけないぐらい、グラグラの状態でも、「持つだけ持たせましょう。」

と患者さんを励ますこともありました。

患者さんの「私も歯をできるだけ抜きたくありません」と言う言葉に甘えていました。

しかし、これは時として患者さんの将来の健康に対して最善の選択ではなかったことがあります。

また、抜歯後ブリッジや入れ歯は、健康な隣接歯に負担をかける可能性があり、長期的にはより多くの歯を失う原因にもなり得ます。

インプラントは、隣接する健康な歯に影響を与えることなく、欠損部に直接設置されます。

これにより、自然な歯の機能を回復し、顎の骨の健康も維持します。

インプラント治療によつて咀嚼機能が改善されることで、

全身の健康状態にも良い影響を与えることが期待できます。

インプラント治療に関する議論は、一部に誤解や不安を抱く声もありますが、

これは主にインプラント治療を経験していない人々の

憶測に基づいていることが多いのです。

事実として、インプラントは世界の多くの先進国で広く採用されており、

高い成功率を誇ります。

問題を起こした事例がある歯科医院も存在するものの、

これはインプラント自体の問題ではなく、実施する医院の選択や

執刀医の技術の質に関連していることが多いのです。

日本には約7万軒の歯科医院があり、そのうち約2万軒がインプラントを診療科目としています。

しかし、これらのクリニックの約80%は年間の埋入本数が30本以下であり、年間に100本以上のインプラントを埋入するクリニックは全体の3〜4%に過ぎません。

インプラント治療は、虫歯治療、歯周病治療、ブリッジ、入れ歯、抜歯、噛み合わせの治療など、歯科全般の知識と技術が必要なため、豊富な経験は非常に重要です。

時に報道によってインプラント治療に対する否定的なイメージが強調されることがありますが、これは視聴率や販売部数を上げるため興味を引く編集が行われることが原因である場合があります。

しかし、実際にはインプラント治療は安全性が高く評価されており、成功率は約95%という報告があります。

この高い成功率は、インプラントが歯を失った際の最善の治療法の1つであることを示しています。

以上の経験則よりインプラント治療は信頼できる選択肢であり、多くの患者さんが再び歯を失った際にインプラントを選択しています。

この治療法は、失われた歯の機能を回復し、患者さんの生活の質を向上させることができます。

適切な医院と医師によって行われるインプラント治療は、失われた歯を補うだけでなく、残存する歯や顎の骨を守るための予防歯科としても機能します。

インプラント技術の進歩により、  
以前はインプラント治療が困難だったケースでも、  
今日では治療が可能になっています。

当院では、困難なケースや失敗ケースのリカバリー手術も  
行っており、患者さんに寄り添った治療を心掛けています。  
インプラント治療を検討される際は、  
経験豊富な歯科医を選択し、  
安心して治療を受けられるようにしてください。





### 第3章 歯を抜いた後、入れ歯やブリッジを選択してはいけない理由

大学卒業後、私は東京都八王子市にある1日平均100人が来院する保険診療中心のクリニックで2年間勤務しました。

この期間、私は1日に30〜40人もの患者さんを診察し、幅広い年齢層にわたる一般歯科治療を行いました。

保険診療で可能な治療を習得し、技術を磨きましたが、失った歯の治療に関してはブリッジと入れ歯の選択肢に限られていました。支えにする歯が残っている患者さんにはブリッジを、残っていない方には入れ歯を推奨するという単純な基準を用いていました。

しかし、このアプローチには不安が伴いました。  
ブリッジの土台となる歯がむし歯になりやすかったり、  
神経を取った歯が割れやすかったりすること、  
そして部分入れ歯のバネにより支えられている  
歯が弱くなることが問題でした。

本来は1本の歯を救うつもりが、  
治療により他の健康な歯まで  
失うという負の連鎖が起こることが  
懸念されました。



## ■ブリッジの場合

ブリッジの場合、全部の歯が繋がっているため、糸ようじが使用できず、歯がない部分、いわゆる人工歯の底が磨けないため、土台になる歯がむし歯や歯槽膿漏になり、口臭を発生させます。

ブリッジは10年経つと50%がダメになるという報告があります。神経の無い歯を土台にした場合は、栄養分が行き渡っていないため、歯自体が乾燥して、過重負担になると割れてしまい、10年で10%、15年で30%が抜歯になります。

最初、1本の歯を回復するつもりが、土台になる2本の歯を道連れに3本失い、順次、多くの歯を削り、さらに大きなブリッジになる。多くの歯を支えているブリッジがダメになるのは、これが理由です。

## ■入れ歯の場合

入れ歯の場合、柔らかい歯肉の上ののっているため、噛むたびに沈み込むので、レストという

沈み込み防止の引っ掛かりを付けます。

レストによって沈み込みは防止されるのですが、実はバネをかけている歯にレストを支点として、

ビール瓶の栓を抜くような、栓抜き効果が加わるのです。

そのため歯に過剰な負担が掛ってグラグラになり、

もたなくなるとその都度抜歯して、1本手前のさらに小さな歯に、修理でバネをかけ、抜歯した場所に人工歯を付け足し、

徐々に大きな入れ歯になって行くのです。

奥歯が無くなると、噛み合わせる位置の基準が無くなり、入れ歯は柔らかい歯肉で支えるため、噛むたびに沈み込み、奥歯があつた頃よりも深く噛み込んでしまうので、斜めにはえている上の前歯が、下の前歯にあおられ、上の前歯は突き上げられ、より前方に出て一気に弱り、短期間で抜歯になります。

下の前歯は、上の前歯と噛み合わないと、徐々に抜けてきて、グラグラになると抜歯になり、最後は総入れ歯になってしまうのです。

88%の人が会話を困難と感じ、25%の人が重大な問題を抱えています。そして、入れ歯を入れていると1年に1mmずつ骨が痩せていくので、入れ歯が合わなくなり数年に1度、新しい入れ歯をエンドレスで作り続けることになるのです。

## ■何もせず放置した場合

入れ歯は大きく異物感があるので、4年で40%の人が、10年で65%の人が使用しなくなり、そのまま放置してしまうという報告があります。

ただし、何もせず放置した場合、抜歯前に噛み合っていた歯が抜けてきたり、隣の歯が傾いてきて歯並びが悪くなります。

ひどい人になると噛み合わせがグチャグチャになり、残った歯のせいでスペースがなくなり、

入れ歯も入れられない状態になる場合もあります。

認知症になるリスクも、歯がある人の約1.9倍高くなります。

## 第4章 私があなたにインプラント治療をお勧めしたい本当の理由

インプラント治療を始めるとき、多くの患者さんが感じるのは、「不安や疑問です」

しかし、私がこの治療を深く信じ、皆さんにお勧めする理由は、その確かな結果にあります。

インプラントは単に失った歯を補う以上の価値をもたらします。

それは、自信と笑顔を取り戻し、

日常生活の質を大きく向上させることに他なりません。

### 【自然な見た目と機能の回復】

インプラント治療の最大の利点の1つは、自然な歯に非常に近い見た目と機能を回復できることです。

食事の際に感じる味わい、話すときの自然な発音、

無意識のうちに見せる笑顔。

これらすべてが、インプラントによって再びあなたのものになります。

### 【長期的な解決策】

多くの歯科治療が一時的な解決策を提供する中で、

インプラントはその耐久性と長期的な観点から見ても、優れた選択肢と言えます。適切なケアと定期的なチェックアップによって、

インプラントは一生持続することも珍しくありません。



## 【全体の健康への影響】

インプラント治療は、口腔の健康だけでなく、

全身の健康にも良い影響を与えます。

自然な歯の機能を取り戻すことで、栄養のある食事を

楽しむことができ、消化も改善されます。

また、自信を持つて笑顔を見せることが、

精神的な心地よい状態にも寄与します。

## 個別のニーズに合わせた治療計画

私たちのアプローチの核心にあるのは、患者さん一人ひとりの

ニーズに合わせた最適な治療計画です。

CTシミュレーション後に詳細な検査を行い、

患者さんの口腔の状態、健康状態、期待と願いを

総合的に考慮した上で、最適な治療計画をご提案します。

インプラント治療を選択することは、  
ただ歯を取り戻すこと以上の意味があります。

それは、人生の質を高め、  
毎日を自信と幸せで満たす1歩です。  
歯学博士 渥美元康と共に、  
あなたもその1歩を踏み出しませんか？



## 体験談 「インプラント治療を経験して」

57歳の時、84歳の総入れ歯の母と同じ

柔らかい食事しか取れない状況に直面しました。

これは、幼少期からの歯の弱さ、20歳での奥歯の神経除去、

30歳での6歳臼歯の抜歯とブリッジ化、40歳での奥歯の抜歯、

そして56歳での歯槽膿漏による残りの奥歯の抜歯によるものです。

これらの出来事は、食事の楽しみや社交活動に大きな影響を及ぼしました。

奥歯を失つてからの北海道旅行では、

ソフトクリームや柔らかい海鮮は楽しめるものの、ジンギスカンやトウモロコシなどの

硬い食べ物食べられない状況に悩まされました。

友人や家族との旅行も、食事の制限によって十分に楽しめない状態になり、

強いフラストレーションを感じていました。

入れ歯の試みは、痛みや異物感により成功せず、最終的には使わない選択をしました。

これにより、生活の質がさらに低下し、将来に対する絶望感を感じるようになりました。

先生のホームページを見て、インプラントというものを知りました。

私のような多数の奥歯がない状態でも

インプラントを入れることが出来るのでしょうか？

教えていただきたくお手紙を書きました。

これは、私がインプラントの相談を受けた患者さんからのお手紙です。

この相談を受けた患者さんのように、

「歯を失って、初めて歯の大切さがわかった」という方が大勢いらっしゃると思います。

さて、この患者さんは歯を失ったことによって、  
どのように生活の変化が起ったのでしょうか？

そう、今まで当たり前だと思っていた日常生活を失ってしまったのです。

「友人との楽しい食事会、家族旅行、重い荷物を踏ん張って持つ、  
大きな口で笑う、大好きなカラオケ……」

たくさんの楽しいことを、歯が無い、入れ歯が気になる、  
たったこれだけのことで、できなくなってしまうのです。

勇気を出してもらい、インプラント個別相談会へ、

ご主人と一緒に来院していただき、レントゲンを見ながら

口腔内の現状と、インプラントについて説明させていただきました。

相談中、「ご主人に」インプラントは高いだろ、歳を取っているから無駄だ！  
と言われ諦めそうになったので、私は「ご主人は眼鏡をかけています。  
あと何日かで徐々に目が見えなくなり最終的には視力を失います。  
でもお金を掛けて手術をすれば若い頃のように目が見えるようになります。  
あなたは奥様に『目の手術は怖いし高いだろ、歳を取っているから無駄だ！』  
と言われたらどう思いますか？

「夫婦ですから相手の気持ちに寄り添って  
物事を考えてあげることが大切だと思いますよ。」とお伝えしました。

口内炎が出来ただけでも食事が楽しくないことを想像して下さい。  
歯を失うとその何百倍もつまらないのです。

歳を取っておいしい物を食べられないということは、  
残された人生の楽しみを多くを失うことに等しいのです。

インプラントで歯を取り戻すことは贅沢です。

お金のこと、体が手術に対応できる状態であること、  
年齢、治療期間、周囲の協力、たばこを吸わないことなど、  
多くの問題をクリアできた人のみ、できる治療なのです。  
しかし、がむしゃらに頑張つて生きてきた人には、それに報いる「褒美」です。

「食べることは喜び」「噛むことは楽しみ」「大きな口で笑うことは幸せ」と私は思います。

その後、この患者さんはインプラント治療を開始しました。  
そして、インプラント治療が終了後、再びお手紙をいただきました。

渥美 先生へ

先月、インプラント治療を終え、今は本当に満足しています。

経済的には決してお安いものではなかったのですが、

夢にまで見た奥歯が入り20歳の頃の歯があるときに、

体も気持ちも若返った感じでした。

本当に自分の歯のように、おせんべい・ピーナッツ・たくあん・

サザエの刺身・牛タンなど数えきれなくらい何でも噛めます。

何年ぶりでしょう、何でも噛み切れるのです。

嬉しくて涙が出てきます。

主人は定年後、家に引きこもることが多かったのですが、

私が外に連れ出し、夫婦で美味しい物の食べ歩きをするようになりました。



今では主人も、「もっと早くインプラントにすれば良かったね!」と言ってくれます。

初めて相談へ行ったときに、先生がおっしゃいましたね。

「インプラントで1度失ったライフスタイルを取り戻しませんか?」

いま私は歯と一緒に失っていたかつての生活を取り戻すことが出来ました。インプラントにして本当に良かったです。ありがとうございます。

この患者さんのように、インプラントを入れることによって、

1度失った生活を取り戻したと、おっしゃる方がたくさんいます。

実は、世界中でインプラント治療が普及している理由がここにあるのです。

あなたは、歯を失うだけでなく、

活力にあふれ充実した生活までも失っていませんか?

ぜひ、あなたもインプラントで、  
以前のライフスタイルを取り戻し、  
心と体が健康で活気に満ちあふれた  
日々を取り戻しましょう！



## 第5章 患者さんからよく質問されるインプラント治療の不安と疑問

インプラントを希望する方が、その決断に至ったターニングポイントについて話されると、さまざまな経験が語られます。

「テレビを見て大笑いした際、テーブルに入れ歯が落ち、

孫がおばあちゃんの顎が外れたと家族総出で大騒ぎしたことで、インターネットで調べ始めました」

「息子夫婦と焼肉を食べに行き、肉を小さく切って食べていたら、息子に食事がまずくなるからやめろ！」

と叱られ、情けなく感じて決断しました」

「友人とカラオケに行った時、歌っている最中に

入れ歯が飛び出し恥ずかしさのあまり娘に調査を頼みました」

「旅行中に入れ歯を紛失し、何も食べられずに夫婦喧嘩となり、その後新聞の記事を目にしました」

「バネ付き部分入れ歯を誤って飲み込み、救急車で運ばれた大騒動を経験し、2度と同じ思いをしたくないと医者に相談しました」。

これらのように、さまざまな困難を経験し、インターネットで調べたり、知人に尋ねたり、新聞を読んだりして、インプラントについて知る人が多いのです。インプラントは自分の歯のように噛むことができるため、若い頃のように何でも食べることができません。

入れ歯のように突然ずれたり外れたりすることもなく、恥ずかしい思いをすることはありません。

多忙を極め、子育てを終え、気づけば歯の状態が悪化している人もいます。自分がまだ自由に動ける年数がどれほどあるかわからない不安の中で、

残りの人生好きなものを食べて生きたいと願うのです。  
それが世界中の人々がインプラントを選ぶ理由です。

ある患者さんは、

「退職後、子供たちにはできるだけお金を残そうと考えた時期もありましたが、お金を残しても自分が噛めないで寝たきりになり、

認知症を患うことになったら意味がないと気づきました。

歯を入れて何でも食べて元気でいることが、

家族に迷惑をかけずに幸せであるため、生きたお金を使うためにインプラントを選びました」と心に残る言葉を頂きました。

前向きに自分の人生を変えたいと願う人々が、

インプラントを通じて噛む喜びを取り戻すのです。

当院は、サイナスリフトやGBR（骨造成）を含む高度な治療を行うことができる専門医院です。また、静脈内鎮静法を用いることで、リラックスした状態で手術を受けられる環境を提供しております。

当院において、インプラント治療を検討される患者さんからよく寄せられる質問とそれに対する回答をまとめました。



## よくある質問と回答

1 インプラント手術は怖いですか？痛みや腫れを伴いますか？

回答 当院では、静脈内鎮静法を使用して、患者さんがリラックスして治療を受けられるようにしています。

この方法により、手術中の不安を最小限に抑えることが可能です。

手術後の痛みや腫れに関しては、個人差はありますが、手術時に痛み止めと抗生物質を点滴で投与するため、ほとんどの患者さんが快適に過ごされています。

2 骨が少ない場合でもインプラントは可能ですか？

回答 はい、可能です。

当院では、サイナスリフトやGBRなどの骨造成手術を専門的に行っており、骨量が不足している患者さんにもインプラント治療を提供しています。

これらの手術により、インプラントを安定させるための十分な骨を確保することが可能です。

### 3 インプラント治療の成功率はどのくらいですか？

回答 インプラント治療の成功率は約95%という報告があります。

当院では最新の技術と豊富な経験を持つ専門医による治療を行っています。治療計画の立案から実施、アフターケアに至るまで、患者さん一人ひとりに最適な治療方法を提供し、成功率を高めています。

### 4 インプラント治療にかかる期間はどのくらいですか？

回答 治療期間は患者さんの口腔内の状況や必要な骨造成手術の有無によって異なります。



一般的には、インプラントの埋入から最終的な冠の装着まで数ヶ月かかることがあります。個別の状況に応じて最適なスケジュールを提案させていただきます。

**5 インプラント治療の費用はどのくらいかかりますか？**

**回答** 治療費は、治療の範囲、必要な骨造成手術の種類、使用するインプラントの種類によって変わります。

CTデータをインプラントシミュレーションソフトでの解析後に詳細な診断を行い、患者さんに最適な治療計画を立てた上で、具体的な費用の見積もりを提供いたします。

**6 インプラント治療後のメンテナンスはどのように行うべきですか？**

**回答** インプラントの長期的な成功を保証するためには、適切なオーラルケアと定期的な歯科検診が必要です。

当院では、治療後のケア方法について詳しくご説明し、定期的なフォローアップを通じて、

インプラントの健康を維持するお手伝いをいたします。

これらの質問以外にもご不安やご質問があれば、遠慮なく当院のスタッフにお尋ねください。

当院では、患者さんが安心して治療を受けられるよう、全力でサポートいたします。



## おわりに

この小冊子を最後までお読みいただき、誠にありがとうございます。

私がインプラント治療に対して抱いている深い信念と、

実際の治療プロセスについての理解を深めていただけたことを願っています。

かつての私自身も、今、この小冊子を手になされているあなたと同じように、インプラントに関する多くの不安や疑問を持つていました。

しかし、私の経験と知識を共有することで、あなたの不安や疑問を少しでも解消できたならば、それ以上の喜びはありません。

私がこれまでの治療で学んだことは、歯科医師としての仕事は単に歯を治療するだけではないということです。

私たちは、患者さんのお口の健康を守り、その結果としての幸せな毎日をサポートする役割を担っています。

インプラント治療への情熱は、私が数多くの講習会に参加し、家族や休息を犠牲にしても学び続けてきた理由です。

患者さん一人ひとりの生活の質を向上させるために、私はこの道を選びました。

インプラントは単なる治療法ではなく、患者さんが日々の生活で直面するさまざまなチャレンジに対処し、

楽しみを取り戻すための手段です。

私が治療を通じて提供できるのは、ただの歯の回復ではなく、患者さんの生活全体の質を高めることです。

この夢を現実にするため、そして患者さん一人ひとりが豊かで満足のいく生活を送れるよう、私はこれからも情熱を持って努力を続けます。

AAIDアメリカインプラント学会専門医としての私の使命は、患者さんが直面するすべての課題に対して、最適な解決策を提供することです。

インプラント治療を通じて、あなたにとつての「噛める喜び」という小さな奇跡が、日々の生活における無数の幸せへとつながることを心から願っています。

この小冊子を通じて、インプラント治療の可能性と

私たちの情熱を感じ取っていただけたなら、それは私たちにとって最大の喜びです。あなたのお口の健康と、それがもたらす日々の幸せに対する私たちのお約束をお伝えできたかと思えます。

もしこの小冊子が、あなたの不安や疑問を少しでも和らげ、インプラント治療への1歩を踏み出すきっかけになったのであれば、私たちの使命は果たされたと言えるでしょう。

### インプラント相談会参加へのお誘い

「インプラント治療で新しい生活を始めませんか？」

私たちは、あなたが持つ全ての質問に答え、不安を解消するためにここにいます。治療に対する細かな疑問から、治療方法に関する具体的な情報まで、あなたの知りたいこと全てにお答えします。

私たちのインプラント相談会は、あなたが抱える疑問や不安を解消し、安心して治療を進められるようサポートする場です。

私たちと共に、あなた自身の生活の質を高める最初の1歩を踏み出しましょう。

ここから始まる旅は、あなたの人生にとって新たなステップになるでしょう。どうぞ、躊躇せずに私たちのインプラント相談会に参加してください。

あなたの人生に再び笑顔と食の喜びを取り戻すための、大切な一歩を、私たちと一緒に踏み出しましょう。

私たちは、あなたの夢を実現するために、全力でサポートします。

ご興味を持たれた方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

あなたからのご連絡を心よりお待ちしております。

【 歯学博士 渥美 元康 ・ スタッフ一同 】

## プロフィール

歯学博士 渥美元康の経歴と資格

### 教育背景

- 北海道医療大学卒業
- 奥羽大学大学院卒業
- 長崎大学病院 口腔・顎・顔面インプラントセンター所属登録医

### 資格

- 歯科医師
- 歯学博士
- A A Dアメリカ口腔インプラント学会専門医(Associate fellow)
- I D A歯科インプラント学会認定医専門医指導医(Diplomate)
- 日本顎咬合学会認定医





## 受講講習・セミナー！

- 日本歯科麻酔学会認定登録医
- 厚生労働省認定臨床研修指導医
- アメリカ心臓協会BLSヘルスケアプロバイダー
- A A Dアメリカ口腔インプラント学会300時間コース終了。
- A A D認定講習会2024年までに596.75時間参加
- 日本口腔インプラント学会100時間コース終了
- S J C Dレギュラーコース・マスターコース終了
- 2009年 グラム インプラントセミナー
- 2011年 ハワイ ハワイ大学インプラント・解剖学セミナー
- 2013年 イタリア 元インプラント学会会長インプラントセミナー
- 2014年 ラスベガス カール・ミッシュインプラントセミナー
- 2015年 ハワイ D A インプラント学会


- 2015年 ドミニカ共和国 ーDーAインプラント学会
  - 2016年 釜山 インプラントセミナー
  - 2017年 ハワイ ーDーAインプラント学会
  - 2017年 シカゴ A AーD専門医試験
  - 2017年 サンデイエゴ A AーD専門医試験合格表彰式
  - 2017年 ドミニカ共和国 ーDーAインプラント学会
  - 2018年 ダラス A AーDアメリカインプラント学会
  - 2018年 ドミニカ共和国 ーDーAインプラント学会
  - 2019年 ニューヨーク ーDーA学術大会
  - 2019年 ラスベガス A AーDアメリカインプラント学会
  - 2019年 ドミニカ共和国 ーDーAインプラント学会
- 他多数の国内セミナーに参加

## 所属学会

- A A I D アメリカ口腔インプラント学会
- I D I A 歯科インプラント学会
- 日本口腔インプラント学会
- 日本顎咬合学会
- 日本歯科麻酔学会
- 日本歯周病学会

歯学博士 渥美元康は、インプラント治療の分野で豊富な経験を持ち、多くの高度な資格と専門知識を有しています。

国内外での研修とセミナー参加を通じて、最新の技術や知識を常に更新し続けており、患者さんへの最高水準の治療提供に努めています。



ナガオカデンタルクリニック

検索

<https://www.izu418.com>

「インプラントで人生を最高のステージに導く方法」

著者 渥美 元康

定価 1100円（税込）